



平成17年3月期

個別中間財務諸表の概要

平成16年11月24日

上場会社名 株式会社 常陽銀行
 コード番号 8333
 (URL <http://www.joyobank.co.jp/>)

上場取引所 東京証券取引所
 本社所在都道府県 茨城県

代表者 役職名 取締役頭取 氏名 澁谷 勲
 問合せ先責任者 役職名 執行役員経営企画部長 氏名 寺門 一義 TEL (029) 300-2604
 決算取締役会開催日 平成16年11月24日 中間配当制度の有無 有
 中間配当支払開始日 平成16年12月10日 単元株制度採用の有無 有(1単元 1000株)

1. 16年9月中間期の業績(平成16年4月1日~平成16年9月30日)

(1) 経営成績 (注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

| | 経常収益 | | 経常利益 | | 中間(当期)純利益 | |
|----------|---------|-----|--------|-------|-----------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 16年9月中間期 | 75,313 | 0.8 | 21,965 | 57.3 | 15,536 | 64.2 |
| 15年9月中間期 | 74,738 | 1.1 | 13,963 | 30.7 | 9,460 | 2.4 |
| 16年3月期 | 147,556 | 0.3 | 29,898 | 149.4 | 22,820 | 172.1 |

| | 1株当たり中間 (当期)純利益 |
|----------|--------------------|
| | 円 銭 |
| 16年9月中間期 | 18.65 |
| 15年9月中間期 | 11.15 |
| 16年3月期 | 27.06 |

(注) 期中平均株式数 16年9月中間期 833,217,648株 15年9月中間期 848,274,160株 16年3月期 843,363,015株
 会計処理の方法の変更 無
 経常収益、経常利益、中間(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率

(2) 配当状況

| | 1株当たり 中間配当金 | 1株当たり 年間配当金 |
|----------|----------------|----------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 16年9月中間期 | 2.50 | - |
| 15年9月中間期 | 2.50 | - |
| 16年3月期 | - | 5.00 |

(注) 16年9月中間期配当金の内訳
 記念配当 0円00銭
 特別配当 0円00銭

(3) 財政状態

| | 総資産 | 株主資本 | 株主資本比率 | 1株当たり 株主資本 | 自己資本比率 (国内基準) |
|----------|-----------|---------|--------|---------------|------------------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 | % |
| 16年9月中間期 | 7,035,843 | 410,947 | 5.8 | 495.09 | 速報値 11.60 |
| 15年9月中間期 | 6,857,309 | 375,083 | 5.5 | 444.47 | 11.24 |
| 16年3月期 | 7,042,842 | 407,745 | 5.8 | 489.01 | 11.34 |

(注) 期末発行済株式数 16年9月中間期 830,041,401株 15年9月中間期 843,897,403株 16年3月期 833,819,635株
 期末自己株式数 16年9月中間期 35,190,474株 15年9月中間期 21,334,472株 16年3月期 31,412,240株

2. 17年3月期の業績予想(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

| | 経常収益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり年間配当金 | |
|-----|---------|--------|--------|------------|------|
| | | | | 期 末 | |
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 | 円 銭 |
| 通 期 | 147,000 | 40,000 | 26,000 | 3.50 | 6.00 |

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 31円32銭
 1株当たり期末配当金の内訳 普通配当 2円50銭、記念配当 1円00銭

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び当行が合理的と判断する一定の予測に基づき作成しており、実際の業績は今後の様々な要因により大きく変動する可能性があります。

比較中間貸借対照表（主要内訳）

株式会社 常陽銀行

（単位：百万円）

| 科 目 | 平成16年 中間期末(A) | 平成15年 中間期末(B) | 比 較 (A) - (B) | 平成15年度末 (C) | 比 較 (A) - (C) |
|--------------|------------------|------------------|------------------|----------------|------------------|
| (資産の部) | | | | | |
| 現金預け金 | 171,220 | 192,856 | 21,636 | 184,160 | 12,940 |
| 一口金 | 6,885 | 2,139 | 4,745 | 9,555 | 2,670 |
| 買入金 | 35,132 | 24,546 | 10,585 | 42,421 | 7,288 |
| 特定取引 | 11,836 | 11,441 | 395 | 14,714 | 2,878 |
| 金銭の信託 | 500 | - | 500 | - | 500 |
| 有価証券 | 2,293,543 | 2,162,007 | 131,536 | 2,255,553 | 37,990 |
| 貸出金 | 4,349,099 | 4,269,374 | 79,724 | 4,363,963 | 14,864 |
| 外国為替 | 1,360 | 2,246 | 886 | 1,561 | 201 |
| その他の資産 | 42,638 | 42,951 | 312 | 48,975 | 6,337 |
| 繰延税金資産 | 85,616 | 87,686 | 2,070 | 85,640 | 24 |
| 繰延税金負債 | 43,129 | 74,364 | 31,234 | 47,652 | 4,522 |
| 支払引当金 | 52,159 | 53,940 | 1,780 | 51,612 | 546 |
| 貸倒引当金 | 57,123 | 66,049 | 8,926 | 62,788 | 5,664 |
| 投資損失引当金 | 155 | 196 | 41 | 180 | 25 |
| 資産の部合計 | 7,035,843 | 6,857,309 | 178,533 | 7,042,842 | 6,999 |
| (負債の部) | | | | | |
| 預渡性預金 | 6,046,137 | 6,013,669 | 32,467 | 6,071,409 | 25,272 |
| 一口マネ | 127,870 | 98,874 | 28,995 | 102,381 | 25,488 |
| 債券借取引受入担保金 | 110,520 | 62,091 | 48,428 | 107,795 | 2,725 |
| 特定取引負債 | 134,750 | 99,144 | 35,606 | 153,381 | 18,631 |
| 借入金 | 57 | - | 57 | 3 | 54 |
| 外国為替 | 86,000 | 86,000 | 0 | 86,000 | 0 |
| 外社債 | 160 | 274 | 114 | 197 | 36 |
| 信託勘定借債 | 15,000 | 15,000 | 0 | 15,000 | 0 |
| その他の負債 | 16 | 15 | 0 | 14 | 1 |
| 退職給付引当金 | 36,513 | 34,436 | 2,077 | 31,662 | 4,851 |
| その他の偶発損失引当金 | 6,655 | 9,632 | 2,977 | 6,672 | 16 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 235 | 146 | 88 | 143 | 92 |
| 支払引当金 | 8,818 | 8,998 | 179 | 8,822 | 4 |
| 支払承諾 | 52,159 | 53,940 | 1,780 | 51,612 | 546 |
| 負債の部合計 | 6,624,895 | 6,482,225 | 142,670 | 6,635,096 | 10,201 |
| (資本の部) | | | | | |
| 資本金 | 85,113 | 85,113 | 0 | 85,113 | 0 |
| 資本剰余金 | 58,575 | 58,574 | 1 | 58,574 | 0 |
| 資本準備金 | 58,574 | 58,574 | 0 | 58,574 | 0 |
| その他資本剰余金 | 1 | - | 1 | 0 | 0 |
| 利益剰余金 | 220,225 | 195,254 | 24,970 | 206,767 | 13,457 |
| 利益準備金 | 55,317 | 55,317 | 0 | 55,317 | 0 |
| 任意積立金 | 143,432 | 123,432 | 20,000 | 123,432 | 20,000 |
| 中間(当期)未処分利益 | 21,476 | 16,505 | 4,970 | 28,018 | 6,542 |
| 中間(当期)純利益 | 15,536 | 9,460 | 6,075 | 22,820 | 7,283 |
| 土地再評価差額金 | 13,053 | 13,324 | 271 | 13,059 | 6 |
| 株式等評価差額金 | 46,209 | 29,920 | 16,288 | 54,768 | 8,558 |
| 自己株式 | 12,228 | 7,103 | 5,124 | 10,536 | 1,691 |
| 資本の部合計 | 410,947 | 375,083 | 35,863 | 407,745 | 3,202 |
| 負債及び資本の部合計 | 7,035,843 | 6,857,309 | 178,533 | 7,042,842 | 6,999 |

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

比較中間損益計算書（主要内訳）

株式会社 常陽銀行

（単位：百万円）

| 科 目 | 平成16年 中間期(A) | 平成15年 中間期(B) | 比 較 (A) - (B) | 平成15年度 (要 約) |
|-----------------------|-----------------|-----------------|------------------|-----------------|
| 経 常 収 益 | 75,313 | 74,738 | 574 | 147,556 |
| 資 金 運 用 収 益 | 59,584 | 57,928 | 1,656 | 116,864 |
| （うち貸出金利息） | （ 42,031 ） | （ 42,069 ） | （ 37 ） | （ 84,885 ） |
| （うち有価証券利息配当金） | （ 16,889 ） | （ 15,655 ） | （ 1,234 ） | （ 31,365 ） |
| 信 託 報 酬 | 15 | 17 | 1 | 31 |
| 役 務 取 引 等 収 益 | 10,202 | 9,076 | 1,125 | 18,563 |
| 特 定 取 引 収 益 | 237 | 7 | 229 | 181 |
| そ の 他 業 務 収 益 | 1,148 | 3,523 | 2,375 | 4,727 |
| そ の 他 経 常 収 益 | 4,125 | 4,186 | 61 | 7,188 |
| 経 常 費 用 | 53,347 | 60,775 | 7,427 | 117,658 |
| 資 金 調 達 費 用 | 5,737 | 5,850 | 113 | 11,220 |
| （うち預金利息） | （ 1,231 ） | （ 1,471 ） | （ 239 ） | （ 2,731 ） |
| 役 務 取 引 等 費 用 | 3,540 | 3,011 | 529 | 6,343 |
| 特 定 取 引 費 用 | - | 18 | 18 | - |
| そ の 他 業 務 費 用 | 881 | 998 | 116 | 2,550 |
| 営 業 経 費 | 36,244 | 38,547 | 2,303 | 74,511 |
| そ の 他 経 常 費 用 | 6,943 | 12,349 | 5,405 | 23,032 |
| 経 常 利 益 | 21,965 | 13,963 | 8,002 | 29,898 |
| 特 別 利 益 | 4,524 | 2,330 | 2,194 | 10,488 |
| 特 別 損 失 | 605 | 266 | 338 | 1,210 |
| 税引前中間(当期)純利益 | 25,885 | 16,027 | 9,857 | 39,176 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 48 | 51 | 3 | 102 |
| 法 人 税 等 調 整 額 | 10,300 | 6,514 | 3,785 | 16,254 |
| 中 間 (当 期) 純 利 益 | 15,536 | 9,460 | 6,075 | 22,820 |
| 前 期 繰 越 利 益 | 5,933 | 6,886 | 952 | 6,886 |
| 土 地 再 評 価 差 額 金 取 崩 額 | 6 | 158 | 152 | 421 |
| 中 間 配 当 額 | - | - | - | 2,109 |
| 自 己 株 式 処 分 差 損 | - | 0 | 0 | - |
| 中 間 (当 期) 未 処 分 利 益 | 21,476 | 16,505 | 4,970 | 28,018 |

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第114期中（平成16年9月30日現在）中間貸借対照表

株式会社 常陽銀行
（単位：百万円）

| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
|---------|-----------|--------------|-----------|
| （資産の部） | | （負債の部） | |
| 現金預け金 | 171,220 | 預 金 | 6,046,137 |
| コールローン | 6,885 | 譲渡性預金 | 127,870 |
| 買入金銭債権 | 35,132 | コールマネー | 110,520 |
| 特定取引資産 | 11,836 | 債券貸借取引受入担保金 | 134,750 |
| 金銭の信託 | 500 | 特定取引負債 | 57 |
| 有価証券 | 2,293,543 | 借入金 | 86,000 |
| 貸出金 | 4,349,099 | 外国為替 | 160 |
| 外国為替 | 1,360 | 社債 | 15,000 |
| その他資産 | 42,638 | 信託勘定借 | 16 |
| 動産不動産 | 85,616 | その他負債 | 36,513 |
| 繰延税金資産 | 43,129 | 退職給付引当金 | 6,655 |
| 支払承諾見返 | 52,159 | その他の偶発損失引当金 | 235 |
| 貸倒引当金 | 57,123 | 再評価に係る繰延税金負債 | 8,818 |
| 投資損失引当金 | 155 | 支払承諾 | 52,159 |
| | | 負債の部合計 | 6,624,895 |
| | | （資本の部） | |
| | | 資本金 | 85,113 |
| | | 資本剰余金 | 58,575 |
| | | 資本準備金 | 58,574 |
| | | その他資本剰余金 | 1 |
| | | 利益剰余金 | 220,225 |
| | | 利益準備金 | 55,317 |
| | | 任意積立金 | 143,432 |
| | | 中間未処分利益 | 21,476 |
| | | 中間純利益 | 15,536 |
| | | 土地再評価差額金 | 13,053 |
| | | 株式等評価差額金 | 46,209 |
| | | 自己株式 | 12,228 |
| | | 資本の部合計 | 410,947 |
| 資産の部合計 | 7,035,843 | 負債及び資本の部合計 | 7,035,843 |

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 金利、通貨の価格、有価証券市場における相場その他の指標に係る短期的な変動、市場間の格差等を利用して利益を得る等の目的(以下「特定取引目的」という。)の取引については、取引の約定時点を基準とし、中間貸借対照表上「特定取引資産」及び「特定取引負債」に計上しております。
- 特定取引資産及び特定取引負債の評価は、有価証券及び金銭債権等については中間決算日の時価により、スワップ・先物・オプション取引等の派生商品については中間決算日において決済したものとみなした額により行っております。
3. 有価証券の評価は、満期保有目的の債券については移動平均法による償却原価法(定額法)、子会社・子法人等株式については移動平均法による原価法、その他有価証券のうち時価のあるものについては中間決算日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は主として移動平均法により算定)、時価のないものについては移動平均法による原価法又は償却原価法により行っております。なお、その他有価証券の評価差額については、全部資本直入法により処理しております。
4. 金銭の信託において信託財産を構成している有価証券は、当中間期末においてありません。
5. デリバティブ取引(特定取引目的の取引を除く)の評価は、時価法により行っております。
6. 動産不動産の減価償却は、定率法(ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物(建物附属設備を除く。))については定額法)を採用し、年間減価償却費見積額を期間により按分し計上しております。なお、主な耐用年数は次のとおりであります。
- | | |
|-----|--------|
| 建 物 | 6年～50年 |
| 動 産 | 3年～20年 |
7. 外貨建資産・負債は、主として中間決算日の為替相場による円換算額を付しております。
8. 貸倒引当金は、予め定めている償却・引当基準に則り、次のとおり計上しております。
- 破産、特別清算等法的に経営破綻の事実が発生している債務者(以下、「破綻先」という。)に係る債権及びそれと同等の状況にある債務者(以下、「実質破綻先」という。)に係る債権については、以下のなお書きに記載されている直接減額後の帳簿価額から、担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額を計上しております。また、現在は経営破綻の状況にないが、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者に係る債権については、債権額から、担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額のうち、債務者の支払能力を総合的に判断し必要と認める額を計上しております。
- 上記以外の債権については、過去の一定期間における貸倒実績から算出した貸倒実績率等に基づき計上しております。
- すべての債権は、資産の自己査定基準に基づき、営業関連部署が資産査定を実施し、当該部署から独立した資産監査部署が査定結果を監査しており、その査定結果に基づいて上記の引当を行っております。
- なお、破綻先及び実質破綻先に対する担保・保証付債権等については、債権額から担保の評価額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額を取立不能見込額として債権額から直接減額しており、その金額は57,111百万円であります。
9. 投資損失引当金は、投資等について将来発生する可能性のある損失を見積もり、必要と認められる額を計上しております。
10. 退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間期末において発生していると認められる額を計上しております。また、過去勤務債務及び数理計算上の差異の費用処理方法は以下のとおりであります。
- | | |
|----------|--|
| 過去勤務債務 | その発生年度の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数(10年)による定額法により費用処理 |
| 数理計算上の差異 | 各発生年度の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数(10年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌期から費用処理 |
11. その他の偶発損失引当金は、他の引当金で引当対象とした事象以外の偶発事象に対し、将来発生する可能性のある損失を見積もり、必要と認められる額を計上しております。なお、この引当金は商法施行規則第43条に規定する引当金であります。
12. リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっております。
13. 金融資産・負債から生じる金利リスクに対するヘッジ会計の方法は、「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」(日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第24号。以下「業種別監査委員会報告第24号」という。)に規定する繰延ヘッジによっております。ヘッジ有効性評価の方法に

については、相場変動を相殺するヘッジについて、ヘッジ対象となる貸出金とヘッジ手段である金利スワップ取引等を一定の残存期間毎にグルーピングのうえ特定し評価しております。また、キャッシュ・フローを固定するヘッジについては、ヘッジ対象とヘッジ手段の金利変動要素の相関関係の検証により有効性の評価をしております。

また、当中間期末の中間貸借対照表に計上している繰延ヘッジ損益のうち、「銀行業における金融商品会計基準適用に関する当面の会計上及び監査上の取扱い」(日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第15号)を適用して実施してありました多数の貸出金・預金等から生じる金利リスクをデリバティブ取引を用いて総体で管理する従来の「マクロヘッジ」に基づく繰延ヘッジ損益は「マクロヘッジ」で指定したそれぞれのヘッジ手段の残存期間・想定元本金額に応じ平成15年度から資金調達費用又は資金運用収益として期間配分しております。

なお、当中間期末における「マクロヘッジ」に基づく繰延ヘッジ損失は5,648百万円であります。

14. 外貨建金融資産・負債から生じる為替変動リスクに対するヘッジ会計の方法は、「銀行業における外貨建取引等の会計処理に関する会計上及び監査上の取扱い」(日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第25号。以下「業種別監査委員会報告第25号」という。)に規定する繰延ヘッジによっております。ヘッジ有効性評価の方法については、外貨建金銭債権債務等の為替変動リスクを減殺する目的で行う通貨スワップ取引及び為替スワップ取引等をヘッジ手段とし、ヘッジ対象である外貨建金銭債権債務等に見合うヘッジ手段の外貨ポジション相当額が存在することを確認することによりヘッジの有効性を評価しております。

15. 一部の資産・負債については、金利スワップの特例処理を行っております。

16. 消費税及び地方消費税(以下、消費税等という。)の会計処理は、税抜方式によっております。ただし、動産不動産に係る控除対象外消費税等は当中間期の費用に計上しております。

17. 動産不動産の減価償却累計額 71,437百万円

18. 動産不動産の圧縮記帳額 5,891百万円

19. 貸出金のうち、破綻先債権額は6,663百万円、延滞債権額は106,010百万円であります。

なお、破綻先債権とは、元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本又は利息の取立て又は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出金(貸倒償却を行った部分を除く。以下「未収利息不計上貸出金」という。)のうち、法人税法施行令(昭和40年政令第97号)第96条第1項第3号のイからホまでに掲げる事由又は同項第4号に規定する事由が生じている貸出金であります。

また、延滞債権とは、未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権及び債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予した貸出金以外の貸出金であります。

20. 貸出金のうち、3カ月以上延滞債権額は1,621百万円であります。

なお、3カ月以上延滞債権とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3カ月以上遅延している貸出金で破綻先債権及び延滞債権に該当しないものであります。

21. 貸出金のうち、貸出条件緩和債権額は65,712百万円であります。

なお、貸出条件緩和債権とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で破綻先債権、延滞債権及び3カ月以上延滞債権に該当しないものであります。

22. 破綻先債権額、延滞債権額、3カ月以上延滞債権額及び貸出条件緩和債権額の合計額は180,008百万円あります。

なお、19.から22.に掲げた債権額は、貸倒引当金控除前の金額であります。

23. 手形割引は、業種別監査委員会報告第24号に基づき金融取引として処理しております。これにより受け入れた銀行引受手形、商業手形、荷付為替手形及び買入外国為替は、売却又は(再)担保という方法で自由に処分できる権利を有しておりますが、その額面金額は55,346百万円あります。

24. 担保に供している資産は次のとおりであります。

担保に供している資産

有価証券 278,002百万円

担保資産に対応する債務

預金 14,897百万円

債券貸借取引受入担保金 134,750百万円

上記のほか、為替決済等の取引の担保あるいは先物取引証拠金等の代用として、有価証券59,440百万円を差し入れております。

また、動産不動産のうち保証金権利金は6,010百万円、その他資産のうち先物取引差入証拠金は160百万円であります。

25. 土地の再評価に関する法律（平成10年3月31日公布法律第34号）に基づき、事業用の土地の再評価を行い、評価差額については、当該評価差額に係る税金相当額を「再評価に係る繰延税金負債」として負債の部に計上し、これを控除した金額を「土地再評価差額金」として資本の部に計上しております。

| | |
|---------------------|--|
| 再評価を行った年月日 | 平成10年3月31日 |
| 同法律第3条第3項に定める再評価の方法 | 土地の再評価に関する法律施行令（平成10年3月31日公布政令第119号）第2条第4号に定める地価税の課税価格計算の方法に基づいて、1画地毎に、財産評価基本通達を基準に奥行価格補正、側方路線影響加算、不整形地補正等を行って算出 |

26. 借入金には、他の債務よりも債務の履行が後順位である旨の特約が付された劣後特約付借入金57,000百万円が含まれております。

27. 1株当たりの純資産額495円9銭

28. 商法施行規則第124条第3号を当中間期末に適用し、同号に規定する時価を付したことにより増加した純資産額は、46,349百万円であります。

29. 有価証券の時価及び評価差額等に関する事項は次のとおりであります。これらには、「有価証券」のほか、「特定取引資産」中の商品有価証券及びコマースナル・ペーパー、「買入金銭債権」中の信託受益権、「その他資産」中の出資金が含まれております。以下、32.まで同様であります。

売買目的有価証券

中間貸借対照表計上額 11,700百万円

当中間期の損益に含まれた評価差額 10

満期保有目的の債券で時価のあるもの

| | 中間貸借対照表 | | 時 価 | 差 額 | うち益 | | うち損 | |
|-----|---------|--------|-------|-------|-----|-----|-----|--|
| | 計 | 上 額 | | | うち益 | うち損 | | |
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | |
| 国債 | | | | | | | | |
| 地方債 | 9,379 | 10,325 | 945 | 945 | | | | |
| 社債 | 13,149 | 13,334 | 185 | 192 | | 7 | | |
| その他 | 34,760 | 35,052 | 292 | 292 | | 0 | | |
| 合計 | 57,289 | 58,713 | 1,423 | 1,431 | | 7 | | |

その他有価証券で時価のあるもの

| | 取得原価 | | 中間貸借対照表 | | 評価差額 | うち益 | | うち損 | |
|-----|-----------|-----------|---------|--------|--------|-------|-----|-----|--|
| | 計 | 上 額 | 計 | 上 額 | | うち益 | うち損 | | |
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | |
| 株式 | 111,343 | 163,867 | 52,523 | 52,523 | 56,144 | 3,620 | | | |
| 債券 | 1,284,260 | 1,295,306 | 11,046 | 11,046 | 15,185 | 4,138 | | | |
| 国債 | 680,116 | 681,116 | 999 | 999 | 3,490 | 2,490 | | | |
| 地方債 | 283,499 | 291,775 | 8,276 | 8,276 | 8,808 | 532 | | | |
| 社債 | 320,644 | 322,415 | 1,770 | 1,770 | 2,886 | 1,115 | | | |
| その他 | 787,473 | 801,331 | 13,858 | 13,858 | 15,091 | 1,232 | | | |
| 合計 | 2,183,077 | 2,260,505 | 77,428 | 77,428 | 86,420 | 8,992 | | | |

なお、上記の評価差額から繰延税金負債31,219百万円を差し引いた額46,209百万円が、「株式等評価差額金」に含まれております。

当中間期において、減損処理の対象となるものはありません。なお、株式の減損処理については、「金融商品会計に関する実務指針」（日本公認会計士協会会計制度委員会報告第14号）の趣旨に基づき、中間決算日の時価が取得原価に比べて30%以上下落した場合を時価の著しい下落と判断し、回復可能性を勘案して減損処理を行っております。

30. 当中間期中に売却したその他有価証券は次のとおりであります。

| | | |
|------------|----------|--------|
| 売却額 | 売却益 | 売却損 |
| 109,429百万円 | 3,628百万円 | 884百万円 |

31. 時価のない有価証券のうち、主なものの内容と中間貸借対照表計上額は、次のとおりであります。

| 内 容 | 中間貸借対照表計上額 |
|------------------|------------|
| 満期保有目的の債券 | |
| 信託受益権 | 7,053 百万円 |
| 子会社・子法人等株式 | |
| 子会社・子法人等株式 | 398 |
| その他有価証券 | |
| 非上場株式（店頭売買株式を除く） | 3,903 |

32. その他有価証券のうち満期があるもの及び満期保有目的の債券の期間ごとの償還予定額は次のとおりであります。

| | 1年以内 | 1年超5年以内 | 5年超10年以内 | 10年超 |
|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 債券 | 180,600 百万円 | 642,337 百万円 | 322,576 百万円 | 172,321 百万円 |
| 国債 | 125,135 | 261,441 | 139,414 | 155,124 |
| 地方債 | 9,309 | 220,489 | 71,356 | |
| 社債 | 46,155 | 160,406 | 111,804 | 17,197 |
| その他 | 89,666 | 412,243 | 135,662 | 154,328 |
| 合計 | 270,267 | 1,054,580 | 458,239 | 326,650 |

33. 金銭の信託の保有目的別の内訳は次のとおりであります。

当中間期末においては、時価のある金銭の信託はありません。

なお、時価のないその他の金銭の信託 500 百万円については、中間貸借対照表上、取得原価で計上しております。

34. 当座貸越契約及び貸付金に係るコミットメントライン契約は、顧客からの融資実行の申し出を受けた場合に、契約上規定された条件について違反がない限り、一定の限度額まで資金を貸付けることを約する契約であります。これらの契約に係る融資未実行残高は 1,183,016 百万円であります。このうち原契約期間が 1 年以内のもの又は任意の時期に無条件で取消可能なものが 1,178,843 百万円あります。

なお、これらの契約の多くは、融資実行されずに終了するものであるため、融資未実行残高そのものが必ずしも当行の将来のキャッシュ・フローに影響を与えるものではありません。これらの契約の多くには、金融情勢の変化、債権の保全及びその他相当の事由があるときは、当行が実行申し込みを受けた融資の拒絶又は契約極度額の減額をすることができる旨の条項が付けられております。また、契約時において必要に応じて不動産・有価証券等の担保を徴求するほか、契約後も定期的に予め定めている行内手続きに基づき顧客の業況等を把握し、必要に応じて契約の見直し、与信保全上の措置等を講じております。

第114期中 中間損益計算書

平成16年4月 1日から
平成16年9月30日まで

株式会社 常陽銀行
(単位：百万円)

| 科 目 | 金 額 |
|---------------|------------|
| 経常収益 | 75,313 |
| 資金運用収益 | 59,584 |
| (うち貸出金利息) | (42,031) |
| (うち有価証券利息配当金) | (16,889) |
| 信託報酬 | 15 |
| 役務取引等収益 | 10,202 |
| 特定取引収益 | 237 |
| その他業務収益 | 1,148 |
| その他経常収益 | 4,125 |
| 経常費用 | 53,347 |
| 資金調達費用 | 5,737 |
| (うち預金利息) | (1,231) |
| 役務取引等費用 | 3,540 |
| その他業務費用 | 881 |
| 営業経費 | 36,244 |
| その他経常費用 | 6,943 |
| 経常利益 | 21,965 |
| 特別利益 | 4,524 |
| 特別損失 | 605 |
| 税引前中間純利益 | 25,885 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 48 |
| 法人税等調整額 | 10,300 |
| 中間純利益 | 15,536 |
| 前期繰越利益 | 5,933 |
| 土地再評価差額金取崩額 | 6 |
| 中間未処分利益 | 21,476 |

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 1株当たり中間純利益金額 18円 64銭
3. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額 18円 63銭
4. 特定取引目的の取引については、取引の約定時点を基準とし、当該取引からの損益を中間損益計算書上「特定取引収益」及び「特定取引費用」に計上しております。
特定取引収益及び特定取引費用の損益計上は、当中間期中の受払利息等に、有価証券、金銭債権等については前期末と当中間期末における評価損益の増減額を、派生商品については前期末と当中間期末におけるみなし決済からの損益相当額の増減額を加えております。
5. 「その他経常費用」には、貸出金償却5,313百万円を含んでおります。
6. 「特別利益」には、貸倒引当金戻入益3,245百万円、償却債権取立益1,279百万円を含んでおります。
7. 「地方税法等の一部を改正する法律」(平成15年3月法律第9号)が平成15年3月31日に公布され、平成16年4月1日以後開始する事業年度より法人事業税に係る課税標準の一部が「付加価値額」及び「資本等の金額」に変更されることになりました。これに伴い、「法人事業税における外形標準課税部分の損益計算書上の表示についての実務上の取扱い」(企業会計基準委員会実務対応報告第12号)に基づき、「付加価値額」及び「資本等の金額」に基づき算定された法人事業税について、当中間期から中間損益計算書中の「営業経費」に含めて表示しております。

（有価証券（子会社株式及び関連会社株式で時価のあるもの））

当中間会計期間、前中間会計期間及び前事業年度のいずれにおいても子会社株式及び関連会社株式で時価のあるものはありません。

平成16年度中間期
決算説明資料

株式会社 常陽銀行

【 目 次 】

平成 16 年度中間決算のポイント

| | | | |
|----------------|-----|-------|---|
| 1 . 損益の状況 | 単 | | 1 |
| 2 . 資産・負債の状況 | 単 | | 3 |
| 3 . 資産の健全性 | 単 | | 5 |
| 4 . 自己資本比率 | 連・単 | | 7 |
| 5 . 16 年度業績見通し | 単・連 | | 7 |

平成 16 年度中間決算の概況

| | | | |
|--------------------|-----|-------|----|
| 1 . 損益の状況 | 単・連 | | 8 |
| 2 . 業務純益 | 単 | | 10 |
| 3 . 利鞘 | 単 | | 10 |
| 4 . R O E | 単 | | 10 |
| 5 . 有価証券関係損益 | 単 | | 11 |
| 6 . 特別損益 | 単 | | 11 |
| 7 . 退職給付関連(退職給付費用) | 単・連 | | 11 |
| 8 . 有価証券の評価損益 | | | 12 |
| (1) 有価証券の評価基準 | | | |
| (2) 評価損益 | 単・連 | | |
| 9 . 自己資本比率 | 連・単 | | 13 |

貸出金等の状況

| | | | |
|-------------------------------|-----|-------|----|
| 1 . リスク管理債権の状況 | 単・連 | | 14 |
| 2 . 業種別リスク管理債権 | 単 | | 15 |
| 3 . 貸倒引当金等の状況 | 単・連 | | 15 |
| 4 . リスク管理債権に対する引当率 | 単・連 | | 16 |
| 5 . 金融再生法開示債権 | 単 | | 17 |
| 6 . 金融再生法開示債権の保全状況 | 単 | | 17 |
| 7 . 金融再生法に基づく資産査定とリスク管理債権との関係 | 単 | | 18 |
| 8 . 業種別貸出状況等 | | | 19 |
| (1) 業種別貸出金 | 単 | | |
| (2) 消費者ローン残高 | 単 | | |
| (3) 中小企業等貸出 | 単 | | |
| 9 . 国別貸出状況等 | | | 20 |
| (1) 特定海外債権残高 | 単 | | |
| (2) アジア向け貸出金 | 単 | | |
| (3) 中南米主要国向け貸出金 | 単 | | |
| (4) ロシア向け貸出金 | 単 | | |
| 10 . 預金、貸出金の残高 | 単 | | 20 |

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

また、記載比率は、小数点第 2 位未満を切り捨てて表示しております。

平成16年度中間決算のポイント

1. 損益の状況

業務純益、経常利益、中間純利益ともに大幅に増加しました。

本業の収益が堅調であることに加え、経費、信用コストが減少したことが主な要因です。

信用コスト^(注)は前年同期比 74億円(同 68%)と大幅に減少しております。

(注)信用コスト：一般貸倒引当金繰入額 + 不良債権処理額 - 貸倒引当金取崩超過額

【単体】

(単位 百万円)

| | 16年中間期 | 15年中間期 | 増減 | 増減率 |
|-----------------|--------|--------|-------|--------|
| 業務粗利益 | 61,028 | 60,674 | 354 | 0.58% |
| 資金利益 | 53,847 | 52,077 | 1,769 | |
| 役務取引等利益 | 6,677 | 6,082 | 594 | |
| その他業務利益 | 266 | 2,525 | 2,258 | |
| (うち国債等債券損益) | 113 | 2,043 | 2,156 | |
| 特定取引利益 | 237 | 10 | 248 | |
| 経費 | 35,547 | 36,467 | 919 | 2.52% |
| 人件費 | 18,598 | 18,407 | 190 | |
| 物件費 | 14,524 | 15,869 | 1,345 | |
| 税金 | 2,425 | 2,190 | 235 | |
| 一般貸倒引当金繰入額 | 1,547 | 2,627 | 4,175 | |
| 業務純益 | 27,028 | 21,579 | 5,448 | 25.25% |
| コア業務純益 | 25,593 | 22,163 | 3,430 | 15.47% |
| 臨時損益 | 5,062 | 7,615 | 2,553 | |
| うち不良債権処理額 | 8,145 | 8,128 | 16 | |
| " 株式等関係損益 | 2,713 | 1,286 | 1,426 | |
| " 退職給付費用 | 552 | 1,711 | 1,159 | |
| 経常利益 | 21,965 | 13,963 | 8,002 | 57.30% |
| 特別損益 | 3,919 | 2,063 | 1,855 | |
| うち不動産処分損益 | 473 | 266 | 207 | |
| " 償却債権取立益 | 1,279 | 2,330 | 1,051 | |
| " 貸倒引当金取崩超過額 | 3,245 | - | 3,245 | |
| 法人税等(法人税等調整額含む) | 10,348 | 6,566 | 3,782 | |
| 中間純利益 | 15,536 | 9,460 | 6,075 | 64.21% |

コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

(1) 業務純益 270億円(前年同期比+54億円)

コア業務純益 255億円(" +34億円)

- ・外債等の有価証券運用利息の増加を主因に資金利益が増加したことに加え、預り資産業務の手数料収入も増加しました。
- ・一方経費は、「コスト構造改革プロジェクト」の効果に加え、システム関連投資がピークを超えたことから、前年同期比9億円減少しました。
- ・また一般貸倒引当金については、要管理先債権の残高減少や引当率低下などにより15億円の取崩しとなりました。
- ・以上により業務純益は、前年同期比54億円増加(+25.2%)の270億円となりました。またコア業務純益は前年同期比34億円増加(+15.4%)の255億円となりました。

(2) 経常利益 219 億円 (前年同期比 + 80 億円)

- ・業務純益の増加に加え、持合解消に伴う株式等売却益の計上により、経常利益は前年同期比 80 億円増加 (+ 57.3%) の 219 億円となりました。

(3) 中間純利益 155 億円 (前年同期比 + 60 億円)

- ・経常利益の増加に加え、貸倒引当金取崩超過額を特別利益に計上したことから、中間純利益は前年同期比 60 億円増加 (+ 64.2%) の 155 億円となりました。

2. 資産・負債の状況

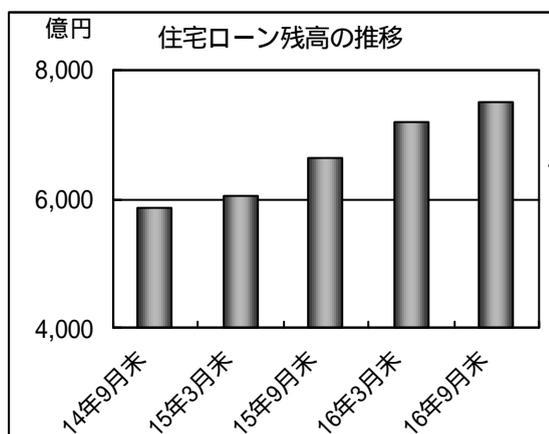
(1) 貸出金

貸出金は15年9月末比797億円増加の4兆3,490億円となりました。住宅ローンが好調に推移したことから、個人貸出は15年9月末比744億円増加の9,192億円となりました。また法人貸出は、2兆8,099億円で15年9月末比ほぼ横這いの実績となりました。

人格別貸出残高の状況

(単位 億円)

| | 16年9月末 | 15年9月末 | 増減 | 増減率 |
|-----------|--------|--------|-----|-------|
| 法人 | 28,099 | 28,116 | 17 | 0.06% |
| 個人 | 9,192 | 8,448 | 744 | 8.81% |
| 国及び地方公共団体 | 6,198 | 6,128 | 70 | 1.14% |
| 総貸出金 | 43,490 | 42,693 | 797 | 1.86% |



< 近年実施した主な推進施策 >

- スコアリング審査導入(15年10月)
- 翌営業日回答、融資金額拡大
- 専門チャンネル(ローンプラザ)の拡充(16年8月)
- 守谷ローンプラザ開設(つくばエクスプレス沿線地区)
- 日曜営業開始(16年8月)
- 県内3拠点にて開始

(2) 預金

個人預金を中心に堅調に推移し、預金全体では6兆461億円と15年9月末比324億円増加しました。

人格別預金残高の状況

(単位 億円)

| | 16年9月末 | 15年9月末 | 増減 | 増減率 |
|------|--------|--------|-----|-------|
| 法人 | 10,081 | 10,077 | 4 | 0.04% |
| 個人 | 45,544 | 45,219 | 325 | 0.71% |
| 公金 | 3,070 | 3,022 | 48 | 1.60% |
| 金融 | 415 | 459 | 44 | 9.62% |
| 円預金計 | 59,112 | 58,778 | 333 | 0.56% |
| 総預金 | 60,461 | 60,136 | 324 | 0.53% |

(3) 預り資産

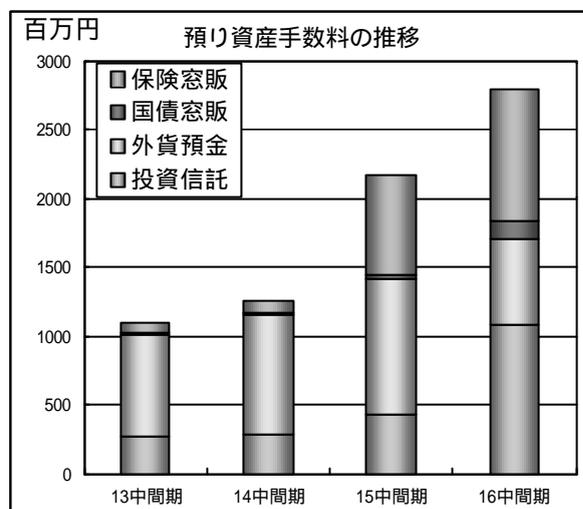
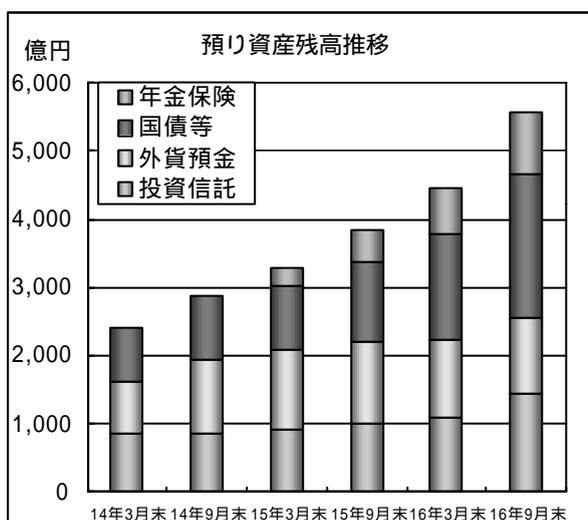
投資信託や個人向け国債の販売が大きく増加したほか、年金保険も順調に増加し、預り資産全体の残高は15年9月末比1,712億円増加し5,569億円となりました。

投資信託、外貨預金、国債等、年金保険の合計

預り資産の状況

(単位 億円)

| | 16年9月末 | 15年9月末 | 増減 | 増減率 |
|----------------|--------|--------|-------|--------|
| 投資信託 | 1,443 | 1,010 | 433 | 42.84% |
| 外貨預金 | 1,119 | 1,206 | 87 | 7.22% |
| 国債等 | 2,110 | 1,168 | 941 | 80.59% |
| 年金保険 (保険料収入へス) | 896 | 471 | 425 | 90.13% |
| 合計 | 5,569 | 3,857 | 1,712 | 44.39% |



(4) 有価証券

「その他有価証券」は774億円の評価益で、引続きポートフォリオの健全性を維持しています。

評価損益の推移

(単位 百万円)

| | 16年9月末 | | | 16年3月末 | 15年9月末 |
|---------|---------|---------|--------|--------|--------|
| | 16年3月末比 | 15年9月末比 | | | |
| その他有価証券 | 77,428 | 14,341 | 27,301 | 91,769 | 50,127 |
| 株式 | 52,523 | 18,457 | 9,587 | 70,980 | 42,936 |
| 債券 | 11,046 | 6,232 | 11,636 | 4,813 | 589 |
| その他 | 13,858 | 2,116 | 6,077 | 15,975 | 7,780 |

3. 資産の健全性

不良債権残高（金融再生法ベース）は1,803億円で、16年3月末比196億円（9.82%）減少しました。不良債権比率も4.09%と、16年3月末比0.43%低下しました。

不良債権残高、不良債権比率とも大きく改善しており、資産の健全性は計画を上回るペースで向上しております。

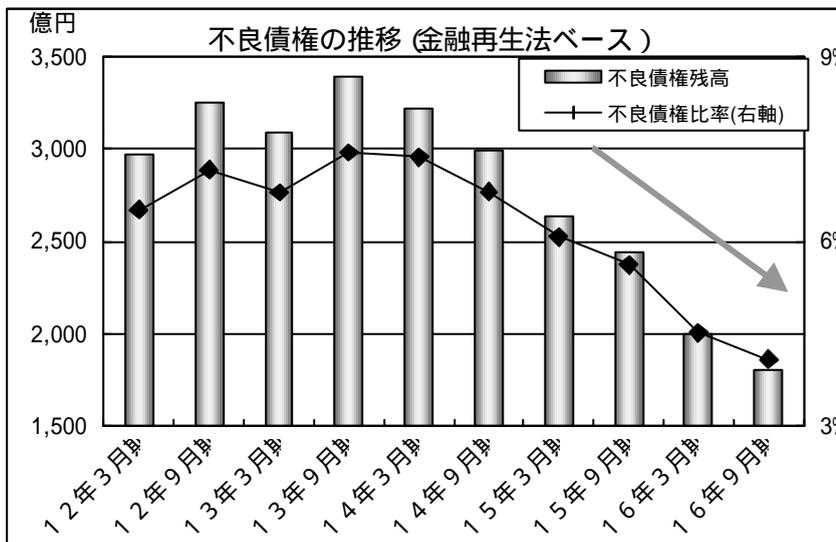
第8次中期経営計画での17年3月末の目標：不良債権残高2000億円程度、不良債権比率4%台

金融再生法に基づく開示債権の推移

(単位 億円)

| | 16年9月末 | | | | 16年3月末 | | 15年9月末 | |
|--------------------|--------|---------|--------|---------|--------|--------|--------|--|
| | | 16年3月末比 | | 15年9月末比 | | | | |
| 破産更生債権およびこれらに準ずる債権 | 218 | 53 | 19.67% | 59 | 21.33% | 272 | 277 | |
| 破綻先債権 | 67 | 9 | 12.61% | 9 | 12.68% | 77 | 77 | |
| 実質破綻先債権 | 150 | 43 | 22.48% | 49 | 24.68% | 194 | 200 | |
| 危険債権 | 911 | 3 | 0.34% | 27 | 2.89% | 908 | 938 | |
| 要管理債権 | 673 | 146 | 17.83% | 548 | 44.87% | 819 | 1,221 | |
| 小計(A) | 1,803 | 196 | 9.82% | 634 | 26.02% | 2,000 | 2,438 | |
| 正常債権(B) | 42,249 | 49 | 0.11% | 1,404 | 3.43% | 42,200 | 40,845 | |
| 合計(C) = (A) + (B) | 44,053 | 147 | 0.33% | 769 | 1.77% | 44,201 | 43,283 | |
| 不良債権比率(A)/(C) | 4.09% | 0.43% | - | 1.53% | - | 4.52% | 5.63% | |

(注) 単位未満切捨て。



不良債権残高
...ピーク比 約1600億円 (47%)
不良債権比率
... " 約3.4%
部分直接償却後

危険債権以下の金融再生法開示債権に対する保全率は91.7%、また要管理債権を含めた全体の保全率は77.1%と、資産の健全性は引続き高い水準を確保しております。

(保全率：開示債権に対する担保・保証及び貸倒引当金計上の割合)

開示債権に対する保全率

(単位 億円)

| 部分直接償却後】 | 破産更生債権 およびこれら に準ずる債権 | 危険債権 | 小計 | 要管理債権 | 合計 |
|----------------------|----------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 開示債権残高 (A) | 218 | 911 | 1,130 | 673 | 1,803 |
| 担保保証等による保全額 (B) | 218 | 509 | 727 | 231 | 959 |
| 非保全額 (C) = (A) - (B) | 0 | 402 | 402 | 441 | 844 |
| 貸倒引当金 (D) | 0 | 308 | 309 | 122 | 431 |
| 保全額 (E) = (B) + (D) | 218 | 818 | 1,036 | 354 | 1,391 |
| 保全率 (E) / (A) | 100.00% | 89.73% | 91.72% | 52.60% | 77.11% |
| (参考 部分直接償却前) | | | | | 82.60% |

(注) 単位未満切捨て。

(オフバランス化の状況)

危険債権以下の債権残高

(単位 億円)

| | 16年3月末 (A) | 16年9月末 | | | 既存分のオフバランス化 (B)-(A) | 債権残高の増減 (D)-(A) |
|-------------------|---------------|--------|----------|---------------|------------------------|--------------------|
| | | 既存分(B) | 新規発生分(C) | 合計(D)=(B)+(C) | | |
| 破産更生債権 および危険債権 | 1,180 | 981 | 148 | 1,130 | 199 | 50 |

オフバランス化の実績

(単位 億円)

| | 合計 | 既存分 | 期中新規 発生分 | |
|------------------|-----|-----|-------------|---------------------------|
| 清算型処理 () | 6 | 6 | 0 | 清算型倒産手続 (破産、特別清算) による処理 |
| 再建型処理 () | 6 | 6 | 0 | 再建型倒産手続 (会社更生、民事再生等)、及び特定 |
| 再建型処理に伴う業況改善 () | 0 | 0 | 0 | 調停等民事調停・私的整理による債権放棄による処理 |
| 債権流動化 () | 112 | 112 | 0 | 債権売却 (バルクセール等) |
| 直接償却 () | 55 | 80 | 24 | 部分直接償却実施額 |
| その他 () | 154 | 154 | 0 | |
| 回収・返済等 () | 134 | 134 | 0 | |
| 業況改善 () | 19 | 19 | 0 | |
| 合計 | 224 | 199 | 24 | |

4. 自己資本比率

自己資本比率は11.66%（連結ベース）と高い水準にあります。またTier（基本的項目）比率でも9.25%と国内基準適用行に求められている4%を大きく上回っております。

なお16年9月期は、資本効率の向上を図るため、自己株式の買付けを約16億円実施しています。

自己資本比率（国内基準）の推移（16年9月末は速報値）

【連結】 (%)

| | 16年9月末 | | 16年3月末 | 15年9月末 |
|--------|---------|---------|--------|--------|
| | 16年3月末比 | 15年9月末比 | | |
| 自己資本比率 | 11.66 | 0.27 | 11.39 | 11.25 |
| うちTier | 9.25 | 0.28 | 8.97 | 8.81 |

【単体】 (%)

| | 16年9月末 | | 16年3月末 | 15年9月末 |
|--------|---------|---------|--------|--------|
| | 16年3月末比 | 15年9月末比 | | |
| 自己資本比率 | 11.60 | 0.26 | 11.34 | 11.24 |
| うちTier | 9.21 | 0.26 | 8.95 | 8.82 |

5. 16年度業績見通し

単体については、業務純益520億円、経常利益400億円、当期純利益260億円と予想しています。

連結については、経常利益410億円、当期純利益260億円と予想しています。

| | 【単体】 | | | 【連結】 | | |
|-------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|
| | | 前年度比 | 当初予想比 | | 前年度比 | 当初予想比 |
| 業務純益 | 52,000 | 4,628 | 2,000 | | | |
| 経常利益 | 40,000 | 10,101 | 4,000 | 41,000 | 10,326 | 5,000 |
| 当期純利益 | 26,000 | 3,179 | 4,000 | 26,000 | 2,324 | 4,000 |

(単位 百万円)

平成 16 年度中間決算の概況

1. 損益の状況

【単体】

(単位：百万円)

| | | 16 年中間期 | 15 年中間期比 | 15 年中間期 |
|-----------------------|----|---------|----------|---------|
| 業 務 粗 利 益 | 1 | 61,028 | 354 | 60,674 |
| (除く 国債等債券損益 (5 勘定戻)) | 2 | 61,141 | 2,510 | 58,630 |
| 国内業務粗利益 | 3 | 55,575 | 1,895 | 53,680 |
| (除く 国債等債券損益 (5 勘定戻)) | 4 | 55,280 | 2,735 | 52,544 |
| 資金利益 | 5 | 48,373 | 1,294 | 47,079 |
| 役務取引等利益 | 6 | 6,663 | 608 | 6,054 |
| 特定取引利益 | 7 | 241 | 204 | 36 |
| その他業務利益 | 8 | 297 | 212 | 509 |
| (うち国債等債券損益 (5 勘定戻)) | 9 | 295 | 840 | 1,135 |
| 国際業務粗利益 | 10 | 5,452 | 1,541 | 6,993 |
| (除く 国債等債券損益 (5 勘定戻)) | 11 | 5,861 | 225 | 6,086 |
| 資金利益 | 12 | 5,473 | 475 | 4,998 |
| 役務取引等利益 | 13 | 13 | 14 | 27 |
| 特定取引利益 | 14 | 3 | 43 | 47 |
| その他業務利益 | 15 | 30 | 2,046 | 2,015 |
| (うち国債等債券損益 (5 勘定戻)) | 16 | 408 | 1,316 | 907 |
| 経 費 (除く 臨時処理分) | 17 | 35,547 | 919 | 36,467 |
| 人 件 費 | 18 | 18,598 | 190 | 18,407 |
| 物 件 費 | 19 | 14,524 | 1,345 | 15,869 |
| 税 金 | 20 | 2,425 | 235 | 2,190 |
| 業 務 純 益 (一般貸倒繰入前) | 21 | 25,480 | 1,273 | 24,206 |
| (除く 国債等債券損益 (5 勘定戻)) | 22 | 25,593 | 3,430 | 22,163 |
| 一般貸倒引当金繰入額... | 23 | 1,547 | 4,175 | 2,627 |
| 業 務 純 益 | 24 | 27,028 | 5,448 | 21,579 |
| うち国債等債券損益 (5 勘定戻) | 25 | 113 | 2,156 | 2,043 |
| 臨時損益 | 26 | 5,062 | 2,553 | 7,615 |
| 不良債権処理額... | 27 | 8,145 | 16 | 8,128 |
| 貸出金償却 | 28 | 5,313 | 710 | 6,024 |
| 個別貸倒引当金繰入額 | 29 | 1,521 | 314 | 1,835 |
| 特定海外債権引当金勘定繰入額 | 30 | - | - | - |
| パルクセール売却損 | 31 | 706 | 486 | 219 |
| その他の偶発損失引当金繰入額 | 32 | 119 | 83 | 35 |
| その他債権売却損等 | 33 | 485 | 471 | 13 |
| (貸倒償却引当費用 + -) | 34 | 3,352 | 7,403 | 10,756 |
| 株式等関係損益 | 35 | 2,713 | 1,426 | 1,286 |
| 株式等売却益 | 36 | 2,864 | 824 | 2,040 |
| 株式等売却損 | 37 | 6 | 90 | 97 |
| 株式等償却 | 38 | 144 | 511 | 655 |
| その他臨時損益 | 39 | 369 | 1,143 | 773 |
| 経 常 利 益 | 40 | 21,965 | 8,002 | 13,963 |
| 特 別 損 益 | 41 | 3,919 | 1,855 | 2,063 |
| うち動産不動産処分損益 | 42 | 473 | 207 | 266 |
| うち償却債権取立益 | 43 | 1,279 | 1,051 | 2,330 |
| うち貸倒引当金取崩超過額... | 44 | 3,245 | 3,245 | - |
| 税引前中間純利益 | 45 | 25,885 | 9,857 | 16,027 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 46 | 48 | 3 | 51 |
| 法人税等調整額 | 47 | 10,300 | 3,785 | 6,514 |
| 中 間 純 利 益 | 48 | 15,536 | 6,075 | 9,460 |

(注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

【連結】

<連結損益計算書ベース>

(単位：百万円)

| | | 16年中間期 | 15年中間期比 | 15年中間期 |
|---------------|----|--------|---------|--------|
| 連結粗利益 | 1 | 62,842 | 684 | 62,158 |
| 資金利益 | 2 | 53,762 | 1,938 | 51,823 |
| 役務取引等利益 | 4 | 8,576 | 755 | 7,820 |
| 特定取引利益 | 5 | 237 | 248 | 10 |
| その他業務利益 | 6 | 266 | 2,258 | 2,525 |
| 営業経費 | 7 | 36,107 | 2,437 | 38,544 |
| 貸倒償却引当費用 | 8 | 7,321 | 4,861 | 12,183 |
| 貸出金償却 | 9 | 6,036 | 757 | 6,794 |
| 個別貸倒引当金繰入額 | 10 | 1,568 | 444 | 2,012 |
| 一般貸倒引当金繰入額 | 11 | 1,594 | 4,594 | 2,999 |
| 特定債務者支援引当金繰入額 | 12 | - | - | - |
| 特定海外債権引当勘定繰入額 | 13 | - | - | - |
| その他の与信関係費用 | 14 | 1,311 | 935 | 375 |
| 株式等関係損益 | 15 | 2,713 | 1,469 | 1,243 |
| 持分法による投資損益 | 16 | - | - | - |
| その他 | 17 | 908 | 80 | 827 |
| 経常利益 | 18 | 23,035 | 9,533 | 13,502 |
| 特別損益 | 19 | 3,713 | 1,548 | 2,164 |
| 税金等調整前中間純利益 | 20 | 26,749 | 11,082 | 15,667 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 21 | 278 | 15 | 262 |
| 法人税等調整額 | 22 | 10,403 | 4,056 | 6,346 |
| 少数株主利益（損失） | 23 | 506 | 773 | 267 |
| 中間純利益 | 24 | 15,561 | 6,236 | 9,324 |

(注) 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 + 信託報酬 - 役務取引等費用)
+ (特定取引収益 - 特定取引費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

(参考)

(単位：百万円)

| | | | | |
|-----------------|----|--------|-------|--------|
| 連結業務純益(一般貸引繰入前) | 25 | 27,438 | 1,712 | 25,726 |
| 連結業務純益 | 26 | 29,033 | 6,306 | 22,726 |

(注) 連結業務純益 = 連結粗利益 - 営業経費(除く臨時費用分) - 一般貸倒引当金繰入額

(連結対象会社数)

(単位：社)

| | | 16年9月末 | 15年9月末比 | 15年9月末 |
|----------|--|--------|---------|--------|
| 連結子会社数 | | 10 | 1 | 11 |
| 持分法適用会社数 | | - | - | - |

2. 業務純益【単体】

(単位：百万円)

| | 16年中間期 | 15年中間期比 | |
|-------------------|--------|---------|--------|
| | | 15年中間期比 | 15年中間期 |
| (1) 業務純益（一般貸引繰入前） | 25,480 | 1,273 | 24,206 |
| 職員一人当たり（千円） | 7,640 | 763 | 6,876 |
| (2) 業務純益 | 27,028 | 5,448 | 21,579 |
| 職員一人当たり（千円） | 8,104 | 1,973 | 6,130 |

(注) 職員数は、臨時雇員、嘱託及び出向職員を除いた平均人員を使用しております。

3. 利鞘【単体】

(単位：%)

| | 16年中間期 | 15年中間期比 | |
|---------------------|--------|---------|--------|
| | | 15年中間期比 | 15年中間期 |
| (1) 資金運用利回 (A) | 1.76 | 0.00 | 1.76 |
| (イ) 貸出金利回 | 1.89 | 0.05 | 1.94 |
| (ロ) 有価証券利回 | 1.53 | 0.07 | 1.46 |
| (2) 資金調達原価 (B) | 1.24 | 0.06 | 1.30 |
| (イ) 預金等利回 | 0.03 | 0.01 | 0.04 |
| (ロ) 外部負債利回 | 1.06 | 0.16 | 1.22 |
| (3) 総資金利鞘 (A) - (B) | 0.52 | 0.06 | 0.46 |

(参考) 国内業務部門

(単位：%)

| | | | |
|---------------------|------|------|------|
| (1) 資金運用利回 (A) | 1.56 | 0.01 | 1.57 |
| (イ) 貸出金利回 | 1.89 | 0.05 | 1.94 |
| (ロ) 有価証券利回 | 1.11 | 0.09 | 1.02 |
| (2) 資金調達原価 (B) | 1.16 | 0.07 | 1.23 |
| (イ) 預金等利回 | 0.02 | 0.01 | 0.03 |
| (ロ) 外部負債利回 | 0.95 | 0.25 | 1.20 |
| (3) 総資金利鞘 (A) - (B) | 0.40 | 0.06 | 0.34 |

4. ROE【単体】

(単位：%)

| | 16年中間期 | 15年中間期比 | |
|----------|--------|---------|--------|
| | | 15年中間期比 | 15年中間期 |
| 業務純益ベース | 15.31 | 2.59 | 12.72 |
| 中間純利益ベース | 8.80 | 3.23 | 5.57 |

5. 有価証券関係損益【単体】

(単位:百万円)

| | 16年中間期 | 15年中間期比 | |
|---------|--------|---------|--------|
| | | 15年中間期比 | 15年中間期 |
| 国債等債券損益 | 113 | 2,156 | 2,043 |
| 売却益 | 763 | 1,636 | 2,400 |
| 償還益 | - | - | - |
| 売却損 | 877 | 519 | 357 |
| 償還損 | - | - | - |
| 償却 | - | - | - |

(注) 金融商品の時価会計に伴い、有価証券の償還損益は12年度より有価証券利息(資金利益)に計上科目が変更となりました。

(単位:百万円)

| | 16年中間期 | 15年中間期比 | |
|---------|--------|---------|--------|
| | | 15年中間期比 | 15年中間期 |
| 株式等関係損益 | 2,713 | 1,426 | 1,286 |
| 売却益 | 2,864 | 824 | 2,040 |
| 売却損 | 6 | 90 | 97 |
| 償却 | 144 | 511 | 655 |

6. 特別損益【単体】

(単位:百万円)

| | 16年中間期 | 15年中間期比 | |
|----------|--------|---------|--------|
| | | 15年中間期比 | 15年中間期 |
| 特別利益 | 4,524 | 2,194 | 2,330 |
| 動産不動産処分益 | - | 0 | 0 |
| 償却債権取立益 | 1,279 | 1,051 | 2,330 |
| その他の特別利益 | 3,245 | 3,245 | - |
| 特別損失 | 605 | 338 | 266 |
| 動産不動産処分損 | 473 | 207 | 266 |
| その他の特別損失 | 131 | 131 | - |

7. 退職給付関連(退職給付費用)

【単体】

(単位:百万円)

| | 16年中間期 | 15年中間期比 | |
|-------------|--------|---------|--------|
| | | 15年中間期比 | 15年中間期 |
| 退職給付費用計 | 1,672 | 1,694 | 3,366 |
| 勤務費用 | 904 | 218 | 1,123 |
| 利息費用 | 496 | 504 | 1,000 |
| 期待運用収益() | 280 | 188 | 469 |
| 過去勤務債務処理額 | - | 101 | 101 |
| 数理計算上の差異処理額 | 552 | 1,260 | 1,813 |
| その他 | - | - | - |

(参考)【連結】

(単位:百万円)

| | 16年中間期 | 15年中間期比 | |
|---------|--------|---------|--------|
| | | 15年中間期比 | 15年中間期 |
| 退職給付費用計 | 1,794 | 1,702 | 3,497 |

8. 有価証券の評価損益

有価証券の評価損益(単体)は満期保有目的の債券が14億円、その他有価証券が774億円、合計で788億円の評価益となりました。

その他有価証券の評価損益(単体)は、株式で95億円、債券で116億円、その他の証券で60億円増加した結果、前中間期比273億円増加しました。

(1) 有価証券の評価基準

| | |
|---------------|------------------|
| 売買目的有価証券 | 時価法(評価差額を損益処理) |
| 満期保有目的の債券 | 償却原価法 |
| その他有価証券 | 時価法(評価差額を全部資本直入) |
| 子会社株式及び関連会社株式 | 原価法 |

(2) 評価損益

【単体】

(単位：百万円)

| | 平成16年9月末 | | | | 平成15年9月末 | | |
|------------|----------|---------|--------|-------|----------|---------|--------|
| | 評価損益 | 15年9月末比 | | | 評価損益 | 15年9月末比 | |
| | | 15年9月末比 | 評価益 | 評価損 | | 評価益 | 評価損 |
| 満期保有目的 | 1,423 | 1,008 | 1,431 | 7 | 2,431 | 2,583 | 152 |
| 子会社・関連会社株式 | - | - | - | - | - | - | - |
| その他有価証券 | 77,428 | 27,301 | 86,420 | 8,992 | 50,127 | 71,536 | 21,408 |
| 株式 | 52,523 | 9,587 | 56,144 | 3,620 | 42,936 | 47,136 | 4,199 |
| 債券 | 11,046 | 11,636 | 15,185 | 4,138 | 589 | 14,090 | 14,680 |
| その他 | 13,858 | 6,077 | 15,091 | 1,232 | 7,780 | 10,309 | 2,528 |
| 合計 | 78,851 | 26,293 | 87,852 | 9,000 | 52,558 | 74,120 | 21,561 |
| 株式 | 52,523 | 9,587 | 56,144 | 3,620 | 42,936 | 47,136 | 4,199 |
| 債券 | 12,177 | 11,221 | 16,323 | 4,146 | 955 | 15,788 | 14,832 |
| その他 | 14,151 | 5,484 | 15,384 | 1,233 | 8,666 | 11,195 | 2,528 |

【連結】

(単位：百万円)

| | 平成16年9月末 | | | | 平成15年9月末 | | |
|---------|----------|---------|--------|-------|----------|---------|--------|
| | 評価損益 | 15年9月末比 | | | 評価損益 | 15年9月末比 | |
| | | 15年9月末比 | 評価益 | 評価損 | | 評価益 | 評価損 |
| 満期保有目的 | 1,423 | 1,008 | 1,431 | 7 | 2,431 | 2,583 | 152 |
| その他有価証券 | 77,463 | 27,326 | 86,458 | 8,995 | 50,137 | 71,552 | 21,415 |
| 株式 | 52,558 | 9,612 | 56,182 | 3,623 | 42,946 | 47,152 | 4,206 |
| 債券 | 11,046 | 11,636 | 15,185 | 4,138 | 589 | 14,090 | 14,680 |
| その他 | 13,858 | 6,077 | 15,091 | 1,232 | 7,780 | 10,309 | 2,528 |
| 合計 | 78,886 | 26,318 | 87,890 | 9,003 | 52,568 | 74,136 | 21,567 |
| 株式 | 52,558 | 9,612 | 56,182 | 3,623 | 42,946 | 47,152 | 4,206 |
| 債券 | 12,177 | 11,221 | 16,323 | 4,146 | 955 | 15,788 | 14,832 |
| その他 | 14,151 | 5,484 | 15,384 | 1,233 | 8,666 | 11,195 | 2,528 |

【単体・連結】(注)1. 平成16年9月末には、「有価証券」のほか、「その他資産」中の出資金も含めております。

2. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、(連結)貸借対照表価額と取得価額との差額を計上しております。

9. 自己資本比率

16年9月末の連結ベースの自己資本比率は11.66%と国内基準として求められる4%を大幅にクリアしております。

【連結】

(単位：百万円、%)

| | 16年9月末 [速報値] | | | 16年3月末 (国内基準) | 15年9月末 (国内基準) |
|-------------------------------|------------------|---------|---------|------------------|------------------|
| | 16年9月末 (国内基準) | 16年3月末比 | 15年9月末比 | | |
| (1) 自己資本比率 | 11.66 | 0.27 | 0.41 | 11.39 | 11.25 |
| (Tier 比率) | 9.25 | 0.28 | 0.44 | 8.97 | 8.81 |
| (2) Tier | 352,614 | 12,391 | 22,263 | 340,223 | 330,351 |
| (3) Tier | 91,919 | 51 | 111 | 91,867 | 91,807 |
| (イ) うち自己資本に計上された 有価証券含み益 | - | - | - | - | - |
| (ロ) うち自己資本に計上された 土地再評価差額 | 11,114 | 61 | 259 | 11,175 | 11,373 |
| (ハ) うち劣後ローン残高 | 57,000 | - | - | 57,000 | 57,000 |
| (4) 控除項目 | | | | | |
| (他の金融機関の資本調達 手段の意図的な保有相当額) | 101 | - | - | 101 | 101 |
| (5) 自己資本(2) + (3) - (4) | 444,432 | 12,442 | 22,375 | 431,989 | 422,057 |
| (6) リスクアセット | 3,808,784 | 18,005 | 59,449 | 3,790,779 | 3,749,334 |

【単体】

(単位：百万円、%)

| | 16年9月末 [速報値] | | | 16年3月末 (国内基準) | 15年9月末 (国内基準) |
|-------------------------------|------------------|---------|---------|------------------|------------------|
| | 16年9月末 (国内基準) | 16年3月末比 | 15年9月末比 | | |
| (1) 自己資本比率 | 11.60 | 0.26 | 0.36 | 11.34 | 11.24 |
| (Tier 比率) | 9.21 | 0.26 | 0.39 | 8.95 | 8.82 |
| (2) Tier | 349,610 | 11,776 | 19,881 | 337,833 | 329,728 |
| (3) Tier | 90,549 | 111 | 156 | 90,437 | 90,393 |
| (イ) うち自己資本に計上された 有価証券含み益 | - | - | - | - | - |
| (ロ) うち自己資本に計上された 土地再評価差額 | 9,842 | 4 | 203 | 9,846 | 10,045 |
| (ハ) うち劣後ローン残高 | 57,000 | - | - | 57,000 | 57,000 |
| (4) 控除項目 | | | | | |
| (他の金融機関の資本調達 手段の意図的な保有相当額) | 101 | - | - | 101 | 101 |
| (5) 自己資本(2) + (3) - (4) | 440,058 | 11,888 | 20,037 | 428,170 | 420,020 |
| (6) リスクアセット | 3,793,201 | 18,637 | 57,491 | 3,774,563 | 3,735,710 |

(注) 連結自己資本比率及び単体自己資本比率は国内基準により算出しております。

貸出金等の状況

1. リスク管理債権の状況

- ・部分直接償却実施後
- ・未収利息不計上基準：資産の自己査定基準

リスク管理債権(単体)は、貸出条件緩和債権を中心に 15年9月末比634億円、16年3月末比197億円減少しました。
貸出金に対する比率(単体)は15年9月末比1.57%、16年3月末比0.44%低下して4.13%となりました。

【単体】

(単位：百万円)

| | | 16年9月末 | | 16年3月末 | 15年9月末 | |
|---------|------------|---------|---------|--------|---------|---------|
| | | 16年3月末比 | 15年9月末比 | | | |
| リスク管理債権 | 破綻先債権額 | 6,663 | 1,021 | 1,015 | 7,685 | 7,678 |
| | 延滞債権額 | 106,010 | 4,114 | 7,655 | 110,125 | 113,665 |
| | 3カ月以上延滞債権額 | 1,621 | 436 | 914 | 1,184 | 2,535 |
| | 貸出条件緩和債権額 | 65,712 | 15,051 | 53,910 | 80,764 | 119,623 |
| | 合計 | 180,008 | 19,751 | 63,495 | 199,759 | 243,503 |

| | | | | | |
|-----------|-----------|--------|--------|-----------|-----------|
| 貸出金残高(未残) | 4,349,099 | 14,864 | 79,724 | 4,363,963 | 4,269,374 |
|-----------|-----------|--------|--------|-----------|-----------|

(単位：%)

| | | | | | | |
|--------|------------|------|------|------|------|------|
| 貸出金残高比 | 破綻先債権額 | 0.15 | 0.02 | 0.02 | 0.17 | 0.17 |
| | 延滞債権額 | 2.43 | 0.09 | 0.23 | 2.52 | 2.66 |
| | 3カ月以上延滞債権額 | 0.03 | 0.01 | 0.02 | 0.02 | 0.05 |
| | 貸出条件緩和債権額 | 1.51 | 0.34 | 1.29 | 1.85 | 2.80 |
| | 合計 | 4.13 | 0.44 | 1.57 | 4.57 | 5.70 |

【連結】

(単位：百万円)

| | | 16年9月末 | | 16年3月末 | 15年9月末 | |
|---------|------------|---------|---------|--------|---------|---------|
| | | 16年3月末比 | 15年9月末比 | | | |
| リスク管理債権 | 破綻先債権額 | 6,877 | 999 | 988 | 7,877 | 7,865 |
| | 延滞債権額 | 108,259 | 4,178 | 7,760 | 112,437 | 116,019 |
| | 3カ月以上延滞債権額 | 1,935 | 422 | 995 | 1,513 | 2,930 |
| | 貸出条件緩和債権額 | 66,068 | 15,062 | 53,897 | 81,131 | 119,965 |
| | 合計 | 183,140 | 19,818 | 63,640 | 202,959 | 246,781 |

| | | | | | |
|-----------|-----------|--------|--------|-----------|-----------|
| 貸出金残高(未残) | 4,305,102 | 15,401 | 79,529 | 4,320,503 | 4,225,573 |
|-----------|-----------|--------|--------|-----------|-----------|

(単位：%)

| | | | | | | |
|--------|------------|------|------|------|------|------|
| 貸出金残高比 | 破綻先債権額 | 0.15 | 0.03 | 0.03 | 0.18 | 0.18 |
| | 延滞債権額 | 2.51 | 0.09 | 0.23 | 2.60 | 2.74 |
| | 3カ月以上延滞債権額 | 0.04 | 0.01 | 0.02 | 0.03 | 0.06 |
| | 貸出条件緩和債権額 | 1.53 | 0.34 | 1.30 | 1.87 | 2.83 |
| | 合計 | 4.25 | 0.44 | 1.59 | 4.69 | 5.84 |

2. 業種別リスク管理債権

【単体】

(単位：百万円)

| | 16年9月末 | | | 16年3月末 | 15年9月末 |
|------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | | 16年3月末比 | 15年9月末比 | | |
| 国内店分 (除く特別国際金融取引勘定) | 180,007 | 19,750 | 63,495 | 199,758 | 243,502 |
| 製造業 | 25,034 | 5,015 | 12,218 | 30,050 | 37,253 |
| 農業 | 663 | 184 | 353 | 848 | 1,017 |
| 林業 | 3 | 0 | 0 | 3 | 4 |
| 漁業 | 2,163 | 620 | 13 | 1,542 | 2,150 |
| 鉱業 | 973 | 44 | 39 | 929 | 934 |
| 建設業 | 28,737 | 685 | 5,004 | 29,423 | 33,742 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 9 | 4 | 220 | 5 | 230 |
| 情報通信業 | 327 | 39 | 74 | 366 | 401 |
| 運輸業 | 6,818 | 847 | 1,166 | 7,666 | 7,985 |
| 卸売業 | 19,336 | 6,064 | 5,564 | 25,401 | 24,901 |
| 小売業 | 17,738 | 1,299 | 5,509 | 19,037 | 23,247 |
| 金融・保険業 | 1,001 | 682 | 555 | 1,683 | 1,556 |
| 不動産業 | 31,402 | 2,332 | 12,005 | 33,734 | 43,408 |
| 各種サービス業 | 36,891 | 2,852 | 19,952 | 39,743 | 56,843 |
| その他 | 8,904 | 415 | 920 | 9,320 | 9,825 |

(注) 日本銀行業種区分の新基準により記載しております。

3. 貸倒引当金等の状況

【単体】

(単位：百万円)

| | 16年9月末 | | | 16年3月末 | 15年9月末 |
|-------------|--------|---------|---------|--------|--------|
| | | 16年3月末比 | 15年9月末比 | | |
| 貸倒引当金 | 57,123 | 5,664 | 8,926 | 62,788 | 66,049 |
| 一般貸倒引当金 | 26,122 | 4,793 | 5,773 | 30,916 | 31,896 |
| 個別貸倒引当金 | 31,000 | 871 | 3,152 | 31,872 | 34,152 |
| 特定海外債権引当勘定 | - | - | - | - | - |
| 特定債務者支援引当金 | - | - | - | - | - |
| その他の偶発損失引当金 | 235 | 92 | 88 | 143 | 146 |

【連結】

(単位：百万円)

| | 16年9月末 | | | 16年3月末 | 15年9月末 |
|-------------|--------|---------|---------|--------|--------|
| | | 16年3月末比 | 15年9月末比 | | |
| 貸倒引当金 | 60,956 | 5,464 | 8,669 | 66,420 | 69,625 |
| 一般貸倒引当金 | 28,898 | 4,733 | 5,577 | 33,631 | 34,475 |
| 個別貸倒引当金 | 32,058 | 730 | 3,092 | 32,788 | 35,150 |
| 特定海外債権引当勘定 | - | - | - | - | - |
| その他の偶発損失引当金 | 235 | 92 | 88 | 143 | 146 |

4. リスク管理債権に対する引当率

リスク管理債権に対する保全率(単体)は77.08%と高水準を確保しております。

【単体】

(単位：百万円、%)

| | 16年9月末 | | | 16年3月末 | 15年9月末 |
|-----------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 16年9月末 | 16年3月末比 | 15年9月末比 | | |
| 貸倒引当金 (A) | 57,123 | 5,664 | 8,926 | 62,788 | 66,049 |
| 特定債務者支援引当金 (B) | - | - | - | - | - |
| リスク管理債権 (C) | 180,008 | 19,751 | 63,495 | 199,759 | 243,503 |
| 引当率 $\{(A)+(B)\}/(C)$ | 31.73 | 0.30 | 4.61 | 31.43 | 27.12 |
| 引当率 (部分直接償却前) | 48.05 | 0.35 | 3.70 | 47.70 | 44.35 |

【連結】

(単位：百万円、%)

| | 16年9月末 | | | 16年3月末 | 15年9月末 |
|-----------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 16年9月末 | 16年3月末比 | 15年9月末比 | | |
| 貸倒引当金 (A) | 60,956 | 5,464 | 8,669 | 66,420 | 69,625 |
| 特定債務者支援引当金 (B) | - | - | - | - | - |
| リスク管理債権 (C) | 183,140 | 19,818 | 63,640 | 202,959 | 246,781 |
| 引当率 $\{(A)+(B)\}/(C)$ | 33.28 | 0.56 | 5.07 | 32.72 | 28.21 |
| 引当率 (部分直接償却前) | 49.83 | 0.61 | 4.42 | 49.22 | 45.41 |

(参考) リスク管理債権に対する保全率(16年9月末)【単体】

(単位：百万円、%)

| | 破綻先債権額 | 延滞債権額 | 3ヵ月以上延滞債権額 | 貸出条件緩和債権額 | 合計 |
|-----------------------|--------|---------|------------|-----------|---------|
| 貸出金の残高 (A) | 6,663 | 106,010 | 1,621 | 65,712 | 180,008 |
| 担保等保全額 (B) | 6,650 | 65,785 | 1,258 | 21,920 | 95,615 |
| 貸倒引当金残高 (C) | 12 | 30,867 | 295 | 11,966 | 43,142 |
| 保全率 $\{(B)+(C)\}/(A)$ | 100.00 | 91.17 | 95.83 | 51.56 | 77.08 |
| 保全率 (部分直接償却前) | 100.00 | 93.24 | 95.83 | 51.58 | 82.56 |

5. 金融再生法開示債権

金融再生法開示債権もリスク管理債権と同様に減少いたしました。

【単体】

(単位：百万円、%)

| | 16年9月末 | 16年3月末比 | | 16年3月末 | 15年9月末 |
|-------------------|-----------|---------|---------|-----------|-----------|
| | | 16年3月末比 | 15年9月末比 | | |
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 21,868 | 5,356 | 5,930 | 27,224 | 27,798 |
| 危険債権 | 91,172 | 311 | 2,714 | 90,860 | 93,887 |
| 要管理債権 | 67,334 | 14,614 | 54,824 | 81,949 | 122,159 |
| 小計 (A) | 180,374 | 19,659 | 63,470 | 200,034 | 243,845 |
| 正常債権 | 4,224,995 | 4,926 | 140,454 | 4,220,069 | 4,084,541 |
| 合計 | 4,405,370 | 14,733 | 76,984 | 4,420,103 | 4,328,386 |

6. 金融再生法開示債権の保全状況

金融再生法開示債権に対する保全率(単体)も77.11%と高水準を確保しております。

【単体】

(単位：百万円、%)

| | 16年9月末 | 16年3月末比 | | 16年3月末 | 15年9月末 |
|------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | | 16年3月末比 | 15年9月末比 | | |
| 保全額 (C) | 139,103 | 16,663 | 49,038 | 155,767 | 188,142 |
| 貸倒引当金 | 43,165 | 5,321 | 10,486 | 48,486 | 53,652 |
| 特定債務者支援引当金 | - | - | - | - | - |
| 担保保証等 | 95,938 | 11,342 | 38,551 | 107,281 | 134,490 |

| | | | | | |
|-------------|-------|------|------|-------|-------|
| 保全率 (C)/(A) | 77.11 | 0.76 | 0.04 | 77.87 | 77.15 |
|-------------|-------|------|------|-------|-------|

| | | | | | |
|---------------|-------|------|------|-------|-------|
| 保全率 (部分直接償却前) | 82.60 | 0.54 | 0.03 | 83.14 | 82.57 |
|---------------|-------|------|------|-------|-------|

7. 金融再生法に基づく資産査定とリスク管理債権との関係

リスク管理債権は、貸出条件緩和債権を中心に前中間期比634億円減少しました。金融再生法の開示債権も前中間期比634億円減少しました。自己査定債務者区分における要管理先債権は前中間期比707億円減少しました。

| 自己査定 債務者区分 | 金融再生法の 開示債権 | 銀行法 リスク管理債権 |
|---|---------------------------------------|------------------------|
| (単位：億円) | | |
| 破綻先債権 67 (9) | 破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権 218(59) | 破綻先債権 66(10) |
| 実質破綻先債権 150(49) | 破綻先債権 67 (9) | |
| 破綻懸念先債権 911 (27) | 実質破綻先債権 150(49) | 延滞債権 1,060 (76) |
| 要注意先 債権 3,392 (102) | 危険債権 911 (27) | 3ヵ月以上延滞債権 16(9) |
| | 要管理先 債権 1,010 (707) | 貸出条件緩和債権 657(539) |
| 要管理先 債権以外の 要注意先 2,382 (605) | 要管理債権 673(548) | 合計 1,800 (634) |
| 正常先債権 39,530 (958) | 小計 1,803 (634) | |
| 合計 44,053 (769) | 正常債権 42,249 (1,404) | |
| | 合計 44,053 (769) | |

(注) 1. 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。

2. ()内は、前中間期比増減額を表示しております。

(対象債権について)

金融再生法上の開示債権 : 貸出金、使用貸借契約により貸し付けている有価証券、外国為替、未収利息、仮払金及び支払承諾見返を対象としております。

銀行法上のリスク管理債権 : 貸出金を対象としております。

(開示基準について)

金融再生法上の開示債権 : 自己査定をベースとし、債務者単位で開示しております。
(ただし、要管理債権については債権単位)

銀行法上のリスク管理債権 : 自己査定の結果、破綻先、実質破綻先及び破綻懸念先に分類した債務者については、債務者単位で開示しております。要注意先に該当する債権は、債権単位で開示しております。

8. 業種別貸出状況等【単体】

(1) 業種別貸出金【単体】

(単位：百万円)

| | 16年9月末 | 16年3月末比 | | 16年3月末 | 15年9月末 |
|------------------------|-----------|---------|---------|-----------|-----------|
| | | 16年3月末比 | 15年9月末比 | | |
| 国内店分 (除く特別国際金融取引勘定) | 4,349,099 | 14,864 | 79,724 | 4,363,963 | 4,269,374 |
| 製造業 | 563,703 | 15,826 | 32,657 | 579,530 | 596,360 |
| 農業 | 12,572 | 35 | 202 | 12,607 | 12,775 |
| 林業 | 177 | 6 | 5 | 171 | 182 |
| 漁業 | 5,023 | 236 | 1,861 | 5,259 | 6,884 |
| 鉱業 | 7,829 | 258 | 471 | 8,087 | 7,358 |
| 建設業 | 215,800 | 15,099 | 8,983 | 230,899 | 224,783 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 14,529 | 205 | 237 | 14,324 | 14,767 |
| 情報通信業 | 13,860 | 1,763 | 449 | 15,624 | 14,310 |
| 運輸業 | 120,520 | 305 | 601 | 120,826 | 119,919 |
| 卸売業 | 331,837 | 4,620 | 8,023 | 336,458 | 339,861 |
| 小売業 | 289,330 | 2,293 | 9,094 | 291,623 | 298,424 |
| 金融・保険業 | 175,803 | 26,649 | 28,152 | 149,153 | 147,650 |
| 不動産業 | 603,971 | 336 | 27,451 | 603,635 | 576,520 |
| 各種サービス業 | 454,981 | 3,893 | 3,112 | 458,875 | 451,868 |
| 地方公共団体 | 458,751 | 4,435 | 37,261 | 454,316 | 421,490 |
| その他 | 1,080,404 | 2,165 | 44,188 | 1,082,569 | 1,036,216 |

(注) 日本銀行業種区分の新基準により記載しております。

(2) 消費者ローン残高【単体】

消費者ローンは、15年9月末比1,053億円、16年3月末比371億円と順調に増加しております。

(単位：百万円)

| | 16年9月末 | 16年3月末比 | | 16年3月末 | 15年9月末 |
|------------|-----------|---------|---------|-----------|---------|
| | | 16年3月末比 | 15年9月末比 | | |
| 消費者ローン残高 | 1,071,989 | 37,149 | 105,372 | 1,034,840 | 966,616 |
| うち住宅ローン残高 | 751,066 | 32,090 | 85,434 | 718,976 | 665,632 |
| うちその他ローン残高 | 320,922 | 5,058 | 19,938 | 315,863 | 300,984 |

(3) 中小企業等貸出【単体】

(単位：百万円、%)

| | 16年9月末 | 16年3月末比 | | 16年3月末 | 15年9月末 |
|------------|-----------|---------|---------|-----------|-----------|
| | | 16年3月末比 | 15年9月末比 | | |
| 中小企業等貸出金残高 | 2,822,536 | 3,142 | 90,405 | 2,819,393 | 2,732,131 |
| 中小企業等貸出比率 | 64.89 | 0.29 | 0.90 | 64.60 | 63.99 |

9 . 国別貸出状況等

(1) 特定海外債権残高【単体】

該当ありません。

(2) アジア向け貸出金【単体】

該当ありません。

(3) 中南米主要国向け貸出金【単体】

(単位：百万円)

| | 16年9月末 | | 16年3月末 | 15年9月末 |
|-----------|--------|---------|--------|--------|
| | | 16年3月末比 | | |
| ブラジル | 0 | 0 | 1 | 1 |
| うちリスク管理債権 | 0 | 0 | 1 | 1 |

(4) ロシア向け貸出金【単体】

該当ありません。

10 . 預金、貸出金の残高【単体】

(単位：百万円)

| | 16年9月末 | | 16年3月末 | 15年9月末 |
|----------|-----------|---------|-----------|-----------|
| | | 16年3月末比 | | |
| 預 金 (未残) | 6,046,137 | 25,272 | 6,071,409 | 6,013,669 |
| (平残) | 6,137,947 | 98,998 | 6,038,948 | 6,056,614 |
| 貸出金 (未残) | 4,349,099 | 14,864 | 4,363,963 | 4,269,374 |
| (平残) | 4,420,220 | 104,701 | 4,315,519 | 4,313,507 |